

東京大学見学および工学部電情報学専攻授業体験

2014年10月3日(金) 西宮市立西宮東高等学校、数理・科学コース1年生(52回生)40名が東京大学見学と工学部授業体験を行いました。

■時程

- 9:30 東京大学赤門前に集合、後 9:55 工学部 2 号館前に到着
- 10:00~11:00 工学部 2 号館で山崎俊彦先生による講義
- 11:00~12:00 工学部 2 号館で落合秀也先生による講義

■生徒の感想

○将来どの分野に進もうか迷っている自分には、どの話も興味深いもので、新鮮でした。山崎先生には今後どのようなことを大事にしながら勉強していったらよいかなど、今までの講義では聞けないことを教えていただきました。落合先生にはインドでの気象観測のことを教えていただき、他国で何かを行うことの大変さも知りました。

○落合先生はインドでの体験談をもとにお話していただくととてもわかりやすかったです。私も大学生やもっと大人になったら、そんな大きなプロジェクトに関わりたい、と思いました。

○落合先生の日印共同プロジェクトのお話は、ただの交流ではなく、本気でインドの災害を予測し防ぐぞ、という熱意が伝わってくるような、とても興味深い研究成果だったと思います。

○日本一の名門大学の歴史に触れることができ、大変興味深いものでした。特に、ハチ公の臓器や夏目漱石の脳が残っているということにとっても驚き、やはりに日本一の大学であることを再び実感できました。

○僕は社交的な性格でないので、先生のおっしゃった事（コネの大切さ）がとても難しく聞こえました。それでも将来は研究職につきたいと考えているので、高校生活の中で少しずつスキルアップを目指します。

○実際に東大で使われている教科書を自分の手に取って見る事ができたので、今は解けないけれどいつかは解けるようになりたいと思いました。

○山崎先生のお話を聞き、工学部進学という新しい道を知ることができました。工学部で育成されている「作れる人」に僕もなってみたいと思いました。

○落合先生の話の中で、現地の方とのコミュニケーションが必要なことがわかり、英語の重要性が裏付けられたように思いました。工学系でやっていくのに必要なことは、物作りの知識や技術だけではないことがわかりました。

○山崎先生のお話で一番驚いたことは、研究をするのに夢中で肺に穴が空いてしまったことです。僕は一日中勉強し続けたことがなかったので、そんなに体力が必要なんだと驚

かされました。

○今回は東京大学工学部を訪問させていただいてありがとうございました。山崎先生にはこのような機会がなければ知ることができなかった東京大学の歴史や魅力、理系の僕たちに必要な3つの力「体力・コネ・英語」を教えていただきました。

○インドと共同で行っているプロジェクトに参加している方からお話を聞き本当に感動しました。また今私達が暮らしている日本が、他の国に比べ、どれだけ便利で快適かということを教えていただきました。

○日本の高い技術が世界で活躍していることをうれしく思い、また反対に日本では当然のことがインドでは通用しないという、社会の格差を突きつけられたように感じました。

○講義を受ける前は難しそうだと思っていた工学部について知ることが出来、少し興味を持ちました。お忙しい中私達に貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

○日印共同プロジェクトは資金援助ではなくシステムを提供するという日本らしい援助だと思いました。話やパンフレットから、工学部は実用的で理学部より魅力を感じました。

○一度にいろいろ計測できる「VaisalaWHT520」の機能性にはビックリしました。そして世界と関わって、研究するということが魅力的でした。僕も世界と関わってみたいと思いました。

○山崎先生、落合先生の話をして直接聞くことができ、実際に行われている研究に少しでも触れることができ、良い刺激をうけました。身の回りの当然の事が、研究開発している人のおかげでできていることが実感でき、そんな研究をしている東大に興味を持ちました。

○落合先生の話に興味を持ったのは気象を調べる時に、いろいろな工夫をされていることです。東大の先生でもそんなふうに考えることがあるということに驚きました。

○コネについて、やはり友好関係を築いていないと仕事も成り立たないのだと思いました。利益を求めただけでなく本当のコネクションを築くことが大切だと思いました。

○山崎先生の工学部とはこういう所だという話はとても心に残り、大学を考える手がかりになりました。落合先生の話は、気象好きの僕にとってとても楽しい話でした。

○落合先生の話からは、インドという過酷な環境での、気象センサーを立てる大切さを知りました。

○先生方の勉強を始めたきっかけというのも面白かった。がんばって模試で百点を取り、それから勉強が好きになれたと聞いて、僕も一回本気で勉強してみようと思った。

○講義を受ける前は、話が難しすぎてついていけない、理解できない、そういう状態で授業を受けて終わるのではないかと思っていました。しかし、両先生ともにわかりやすくかみくだいた説明をして下さり、とても楽しく授業を受けることができました。

○普段私達が何気なく知ることができている情報は落合先生たちが行っている実験のおかげで私達のもとまで届いていると初めて知り、すごいと感じました。

○自分が将来、大学で学びたいと思っている分野とは全く違う分野の講義を受けることにより、自分の中の知識が増え、選択肢も増えたとても素晴らしい時間でした。

■ 東京大学での様子（東京大学構内）



工学部棟内での授業の様子

